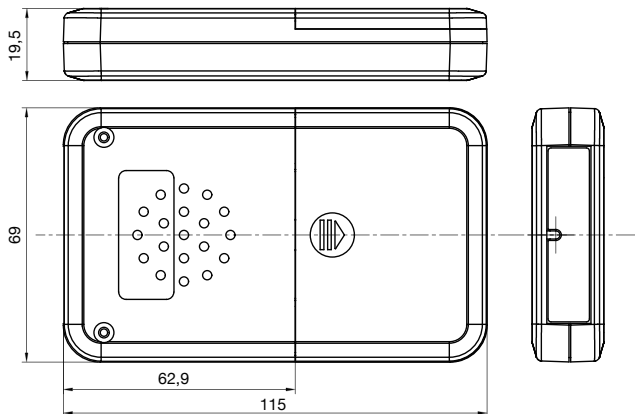
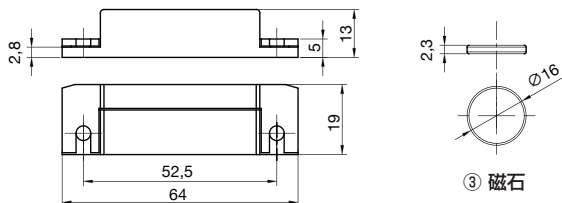


① 本体



② 磁気接点スイッチ (Magnetic Contact Switch) MCS



③ 磁石

本体重量：約135g（単4乾電池3個含む）

磁気センサースイッチ (MCS) 重量：約14g

MCS と磁石との距離は、0mm～約20mmの範囲内で安定して動作します。

ドアが閉まる案内およびフロアの昇降案内には未対応、音量調整機能はありません。

保証期間はご購入日から1年です。付属の単4乾電池は消耗品で保証の対象外です。

MCS から出ているケーブルは方向が違っただけで、左右ドア用とも同じ製品です。

112524A

磁気スイッチから磁石が離れると音声が出る機器
フロアの音声案内（乾電池タイプ）

階音くん



取扱説明書

- 故障の原因になるため、本体の分解はしないでください。分解をされた場合は、商品保証の対象外になります。
- 屋外エレベーターでのご使用は、商品保証の対象外になります。
- 湿気やホコリの多い場所に設置される場合は、動作不良や電池の液漏れなどの原因になるため、ご使用をお控えください。
- 施工・設置等の作業はお請けしておりません。施工専門業者や工事関係者の方で設置をお願いします。
- 磁気接点スイッチは繊細な機器です。衝撃を与えると動作不良の原因になるため、取り扱いにご注意ください。

■ 本体の設置について（音量調整の機能はありません。）

本体はエレベーターの外側で盗難等防止のため、容易に手の届かない高さの建付けフレーム上などへの設置をお勧めします。両面テープなどをご使用される場合は、接着面の材質等をご考慮の上、施工専門業者の方にご相談ください。 ※当社は3M社の両面テープを推奨しています。

本体の設置イメージ（エレベータ左側のドア用）

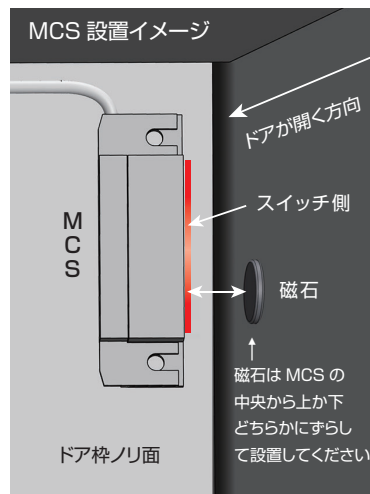


【ご注意】 本体は磁気接点スイッチとセットで、左側ドア用・右側ドア用があります。

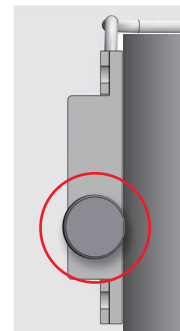
■ 磁気接点スイッチ(MCS)と磁石の設置について

【ご注意】 安全のため、エレベーターは、ドアが閉まった状態で休止をさせてから作業を行ってください。

磁石は MCS 中央から上・下いずれかに、ずらして設置してください。20mm 程度離しても反応しますが間隔が近いほど動作が安定します。磁石と MCS を近づけたり離したりしながら、音声の反応を確認して、適切な位置を決めてから、磁石・MCS 双方を固定してください。



＜左開きドアへの設置例＞



磁石は MCS の面から大きくはみ出ないように、赤丸枠の範囲内に収めてください。

MCS のケーブル出口は左右いずれかになっています。スイッチ側をエレベーターのドア側にして、ケーブルが天井側になるように設置をしてください。

磁石は MCS の中央からどちら側にずらしても問題ありません。

